



**Preview**

---

**105**

---

誠信プレビュー

---

目次		
〈崇高〉の聖地	愛蘭土紀行 (2) 桑島秀樹	3
Preview	読者の皆様へ	7
Review	「社会心理」に関する本	15

桑島 秀樹

## 〈崇高〉の聖地

——愛蘭土紀行(2) コーク州ブラックウォーター溪谷



故郷はどこかと訊ねてみることは、その人の人生と思想とを知る鍵となる。崇高美学の祖「ネッド」(=エドマンド・バーク)の生地は、ダブリン市街を流れるリフィ川北岸のアラン埠頭だといわれる。ネッドが生まれた1729年頃のこの埠頭付近は、司法機関の集まるブルジョワ新興住宅街。「改宗国教徒」の法律家だった父リチャードの家はこの一画にあった。しかし僕は、バークが真の意味で生まれた故郷、すなわち〈崇高〉の聖地は、アイルランド島南部のコーク州ブラックウォーター溪谷であったと考えている。幼な子ネッドは、リフィの灰褐色の淀みではなく、ブラックウォーターの琥珀色なす清流に湯浴みしたのだ。

この考えは、2001年秋はじめて彼の地を踏査した

際、揺るぎなきものとなった（2008年春に第二回調査）。むろん、僕の調査の十年ほどまえに当地を丹念に歩き、「バークの真の生地はここだ」と主張した現地作家がいたのは心強かった（C・C・オブライアン『ザ・グレイト・メロディ』1992年）。じつは初回調査の後、このオブライアン（1917-2008）による伝記を詳しく読み返して気づいたことがある。なんと僕は図らずも、この老作家が取材したのとまさに同じ人々と出会っていたのだ！そういえば、あの「バリドフ・ロッジ」（「バーク生家」と伝えられる廃屋の隣家）の住人、マリード・バリー老女史も、あの「モナニミイ・キャッスル」（かつてバーク母方一族族長の居館があり18世紀にはカトリックの「ヘッジ・スクール」開催地）の住人、ドイツ人郷土史家クラウス・リヒター氏も言っていた。ダブリン・トリニティ・カレッジやコーク大学の研究者もここには来なかった。しかし、オブライアンだけは来た、と。しかも老女史によれば、彼は二度も来た、と。あれから七年、昨春ふたたび訪れたこの溪間の村には、バークのことなんかお構いなしに、生まれたばかりの双子の羊をしわくちゃの笑顔で見せてくれたマリードも、みずから創建したキャッスルに僕を呼び、熱心に調査内容に耳を傾け、あげく屋上から溪谷の全眺望を愉しませてくれたクラウスも、もはやいなかった。そして画期的なバーク伝を書いた老作家も、つい昨年暮れに息をひきとっている。

\* \* \*

ブラックウォーター溪谷でのネッドの父と母の出会いを跡づけてみよう。父方バーク一族はこの溪谷に、リチャードの父、すなわちネッドの祖父の代にやってきた。バークの先祖は、12世紀に島西部コナハトへと入

植、その後リムリックで公職にも就きつつ内陸へと南下し、このブラックウォーター河畔の沃野に土地をえた。いわば機動性の高いアングロ＝ノルマンだ。対して、同じアングロ＝ノルマンの家系ながら、入植後からこの溪谷に根をおろしたのが、母メアリの出たネーグル一族 (de Nangles / the Nagles)。あきらかに土着型氏族である。そしてネーグル家は、「クラン (氏族)」の固い結束のもと豪農郷士として君臨してきた。いまでもこの溪間にはネーグル家に由来する城館が多数残っている。西から東へとゆるやかに蛇行するブラックウォーター南岸に沿って、一族の名を冠した「ネーグル山地」が低く長く延びていく。ネーグルの末裔だという T・J・ネーグル青年——普通の小農民にみえた——と短く語らったのも、この山裾のちいさな厩舎きゅうしゃのまえだった。

そうはいつでもこのネーグル一族は、カトリックの英国王ジェームズ二世の法務長官を出した家柄。そもそもこの沃野は、アイルランド総督にしたがい、エドモンド・スペンサーも——エリザベス女王の寵臣ローリー卿も——入植した来歴がある土地。大詩人は溪谷美を『妖精女王』に謳いあげ、息子シルヴェイナスはネーグルの娘を娶っていた。後に「ネッド」が、大詩人と同じくエドモンドと名づけられ、「スペンサーの城」——ネーグル直轄地の息子の居城——で遊ぶことになったのも故なしとしない。ただし、ジェームズ二世の重臣を出したことからも分かるよう、この一族は古いカトリックの家柄。母メアリはリチャードと結婚後もカトリックのままだった。アイリッシュ・カトリックの当時の風習では出産時に実家に帰るのは普通だったというから、ブラックウォーターでの「湯浴み」と

いうのも、それほどの外的外れではあるまい。

\* \* \*

バーク没後最初に詳細で大部な伝記（1824年）を書いたJ・プライア（c.1790-1869）は、ネッドと母方ネーグル家との関係にはほとんど触れていない。バークの幼少期について後の通説を規定したのもこの伝記である。プライアはこう説く。バーク家は、祖父の代から「キャスルタウンローチ」（ネーグル山地対岸の町）に土地をもつ。父は「国教徒」でダブリンに出て成功、バークは「アラン埠頭の父の家」で生まれた。彼は「父と同じ国教徒」で、母から「読書」を、近隣の老女から「国語（＝英語）」を学ぶ。病氣療養のためブラックウォーター河畔に移ってからは、村の校長に「ラテン語文法」を学んだ、云々。このように、プライアの伝記では、カトリックの土着氏族ネーグルとの交流が秘匿されている。これには、ヴィクトリア期のバーク評価が背景にあった。大英帝国の最盛期たるこの時代、バークは国を代表する政治家へと祀りあげられた。カトリック・シンパのアイリッシュ・マイノリティであってはならない。帝国を護る「保守主義者バーク」という虚像が、ネッドを涵養した精神風土を隠ぺいし続けたわけだ。ゆえに〈崇高の美学者〉バークの姿もずっと読み誤られてきたように思う。だからいま僕は、ブラックウォーター溪谷への「巡礼」を続けている。

（くわじま ひでき / 広島大学大学院准教授・美学）

# 読者の皆様へ

## 誠信書房出版案内

---

P

---

小社の出版物は全国の主要書店の店頭にてお求めいただけます。店頭がない場合には注文にてお取り寄せください。

直接送付をご希望の場合は、お名前ご住所（お届け先）、電話番号、ご注文の書名、冊数を明示のうえ、電話、FAX、e-mail (sei@seishinshobo.co.jp)にてお申し込みください。代金引換郵便にてお送りいたします。送料は1回につき一律200円（税込）です。お受け取りの際に代金（価格合計+消費税+送料）を郵便局係員にお支払いください。

公費でのご購入などで、代金引換郵便が不都合な場合には、ご一報ください。

小社の新刊書および既刊書は、インターネットのホームページでもご案内しておりますので、ご利用ください。

本誌をご希望の方は、直接小社にお申し付けください。定期的にお送り（無料）いたします。

---

〒112-0012 東京都文京区大塚3-20-6

電話 03-3946-5666 Fax 03-3945-8880

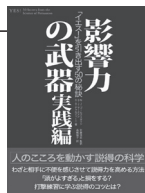
<http://www.seishinshobo.co.jp>

---

2009年6月8日刊行

# 影響力の武器 実践編

「イエス！」を引き出す50の秘訣



ロバート・B. チャルディーニ他 著

安藤清志 監訳 高橋紹子 訳

『影響力の武器』の六つの原理を実社会で活用した50余りの事例を、ユーモアを交えて描く心理学書。人や組織から同意と承諾を得る方法を、社会の場面にあわせて個別具体的に解説した。世界の名だたる企業の販売戦略、リーダーシップの獲得術など、人が人から協力してもらう方法をあらゆる角度から分析し、実験に裏打ちされた方法論をもとに紹介。成功は失敗談のなかにこそある。

## 〈目次から〉

- 不便を感じさせて高める説得力
- 選択肢が多すぎると買う気が失せる
- 上位商品の発売によって従来品が売れ出す不思議
- 恐怖を呼び起こす説得の微妙な効果
- 与えることが人を動かす
- 感謝の気持ちを蘇らせる一言
- 一貫性をもって一貫性を制す
- 小さなお願いが引き出す大きな成果
- 安くする？高くする？オークションの売り出し価格
- さりげなく能力を際立たせる
- 優れたリーダーの力を最大限発揮させるには
- 集団思考の落とし穴
- 最良の教材は過去の失敗例
- 弱点も見せ方しだい
- システム障害発生、でも責任者は救われる
- クレヨン箱の中にある説得のヒント

Noah J. Goldstein : シカゴ大学大学院ビジネス学部講師

Steve. J. Martin : イギリスでプレゼンを指導するビジネス関連団体の代表

Robert. B. Cialdini : アリゾナ州立大学心理学部教授

あんどう きよし : 東洋大学社会学部社会心理学科教授

たかはししょうこ : 翻訳者

四六判 286頁 / 定価 2100円 (本体 2000円 + 税)

ISBN978-4-414-30417-6



2009年4月25日刊行

# 人文・社会科学のための テキストマイニング



松村真宏・三浦麻子 著

テキストマイニングを、“分かりやすく”，そして“タダ”で行うことを可能にする一冊。著者が開発したフリーソフト「TinyText Miner」をはじめとする各種ソフトウェアの活用法から，自然言語処理，統計解析，データマイニングの分野を幅広くカバーした。人文・社会科学分野の学部学生，大学院生・研究者の入門書として最適な内容である。

---

## 第1章 序

- 1.1 テキストマイニングがもたらすブレイクスルー
- 1.2 タダで本格的なテキストマイニング / 他

## 第2章 TTM と関連ソフトウェアのインストール

- 2.1 テキストマイニングの準備
- 2.2 TTM のダウンロードとインストール / 他

## 第3章 TTM によるテキストデータの分析

- 3.1 TTM の基本的な使い方
- 3.2 テキストマイニングで知る経済情勢の時系列変化 / 他

## 第4章 R を併用したテキストデータの統計解析

- 4.2 R によるテキストデータの解析 / 他

## 第5章 Weka を併用したテキストデータのデータマイニング

- 5.1 属性と事例
- 5.3 入力ファイルの作成 / 他

## 第6章 テキストマイニングの応用事例

- 6.1 質問紙調査の自由記述回答文
- 6.3 プログ / 他

## 第7章 テキストマイニングの基盤技術

- 7.1 自然言語処理
- 7.2 統計解析
- 7.3 データマイニング

---

まつむら なおひろ：大阪大学大学院経済学研究科准教授

みうら あさこ：関西学院大学文学部教授

---

B5判 158頁 / 定価 2520円 (本体 2400円 + 税)

ISBN978-4-414-30171-7

---

2009年6月15日刊行

# 日本の心理臨床 2 医療と心理臨床



HIV 感染症へのアプローチ

矢永由里子 著

HIV 感染症への 20 年に及ぶ取り組みを中心に、医療における心理臨床について、病を持つ患者との心理面接から、医療スタッフとのチーム医療、さらに患者や家族を取り巻くコミュニティへの働きかけまでを、心理臨床の深まりと広がり両軸から整理し検討を加える。そこでの知見は、医療の枠を超え、これからの心理臨床のあるべき姿を提示する。臨床から学ぶ著者の柔軟かつ揺るぎない姿勢が生き生きと伝わってくる出色の書。

## 第 I 部 病と心理臨床

第一章 ひとつの病が意味するもの——「たかが HIV、されど HIV」

第二章 医療における心理臨床——鍵となる概念

## 第 II 部 心理臨床の深まり

第三章 病と向き合う——告知の場面について

第四章 病とともに生きるということ

第五章 患者が死を意識するとき

第六章 患者の死後の遺族について

第七章 心理臨床を深めて

## 第 III 部 心理臨床の広がり

第八章 チーム医療——その試みと課題

第九章 心理臨床とコミュニティ

第十章 今後に向けて

やなが ゆりこ：エイズ予防財団企画課課長、臨床心理士

A5 判 220 頁 / 定価 2730 円（本体 2600 円 + 税）

ISBN978-4-414-41315-1

2009年7月22日刊行予定

## 日本の心理臨床 3 からだところ



身体性の臨床心理  
成瀬悟策 著

ところが活動していればからだも関連して活動しているし、からだの不調になればこころもそれなりに不安定になる、といったことをわれわれは体験として感じている。しかし、こころの研究者はからだを扱わず、からだの研究者はこころを扱わずで、両者の関係を既成の学問はないがしろにしてきた。著者は、これまでの豊富な心理臨床研究体験の集大成として、こころとからだの相互性についてオリジナルに解説してくれる。

- 
- 第一章 緊張と緊張感
  - 第二章 こころとからだ
  - 第三章 からだが重たい・だるい・おっくう——緊張を弛める
  - 第四章 肩周りへの対応
  - 第五章 ボディー・ダイナミックス
  - 第六章 四肢への対応
  - 第七章 動作援助における体験の変化
  - 第八章 身体性

---

なるせ ごさく：九州大学名誉教授，吉備国際大学大学院教授，臨床心理士

A5判 302頁 / 定価 3360円（本体 3200円 + 税）

ISBN978-4-414-41316-8

---

2009年5月10日刊行

# フォーカシング指向 アートセラピー

からだの知恵と創造性が出会うとき



L. ラパポート 著 池見 陽・三宅麻希 監訳

フォーカシングをアートセラピーに統合する理論と技法を紹介。アートの持つイメージの視覚化や創造性と、フォーカシングの持つマインドフルネスや気づきが、相補的に影響しあい、より深い癒しを引き出すことに成功している。本書では、双方の初学者にも理解しやすいよう、図版と事例（個人・グループ）を豊富に示しながら、実践の枠組みを解説する。

- 
- 第1章 フォーカシング：歴史と概念
  - 第2章 ジェンドリンのフォーカシング法
  - 第3章 フォーカシング指向心理療法
  - 第4章 アートセラピーの歴史、概念と実践
  - 第5章 フォーカシングとアートセラピーをつなぐ
  - 第6章 フォーカシング指向アートセラピーの基礎
  - 第7章 アートを用いたクリアリング・スペース
  - 第8章 フォーカシング指向アートセラピー
  - 第9章 精神科デイケアにおけるストレス軽減
  - 第10章 州刑務所における感情の癒しとセルフケア
  - 第11章 内なる批評家を変容させる
  - 第12章 文化の架け橋となるフォーカシング指向アートセラピー
  - 第13章 健康とウェルネス：あるがん患者サポートグループ
  - 第14章 トラウマに取り組む
  - 第15章 スピリチュアリティと心理療法
  - 第16章 他の表現アートへのひろがり
  - 第17章 エクササイズの教示

---

Laury Rappaport : Notre Dame de Namur University, California 准教授

いけみ あきら：関西大学臨床心理専門職大学院教授

みやけ まき：関西大学文学部非常勤講師，心理臨床カウンセリングルーム相談員

---

A5判 334頁 / 定価 3990円（本体 3800円＋税）

ISBN978-4-414-41437-0

---

2009年7月24日刊行予定

性問題行動・性犯罪の治療教育シリーズ 1



## 回復への道のり 親ガイド

性問題行動のある子どもをもつ親のために  
ティモシー・J. カーン 著 藤岡淳子 監訳

性問題行動・性犯罪のある子どもをもつ親が治療について知り、子どもの再犯を防ぐにはどうすればよいかを事例をもとに具体的に解説する。また、わが子がプログラムを受けて回復した親たちの声を紹介するとともに、わが子の性非行・性犯罪にショックを受けている日本の親たちに、社会が治療を提供し、本人がプログラムを受ければ9割が回復することを知らせてくれる。

- 1 はじめに
- 2 最初の反応——どこに援助を求めるか
- 3 よくある質問
- 4 アセスメント（評価）の過程を理解する
- 5 治療を理解する——あなたのお子さんを援助するために知る必要がある鍵となる概念
- 6 きょうだい（兄弟姉妹）——無言の受難者たち
- 7 被害者支援と健全な環境作り
- 8 家族の再統合～家族が絆を取り戻し、再び一緒に暮らす
- 9 適切な監督によって治療を効果的なものにする
- 10 これからどうなるの？ この問題はいつ終わるの？

Timothy J. Kahn：性問題行動・性犯罪者治療の臨床家兼研修者

ふじおか じゅんこ：大阪大学大学院人間科学研究科教授、臨床心理士

A5判 238頁 / 予価 2520円（本体 2400円＋税）

ISBN978-4-414-41434-9

2009年8月中旬刊行予定

---

性問題行動・性犯罪の治療教育シリーズ2

## 回復への道のり パスウェイズ

性問題行動のある思春期少年少女のために

ティモシー・J.カーン 著 藤岡淳子 監訳

---

本書は、性問題行動のある11歳から21歳の青少年を対象にしたワークブックで、十年以上にわたって世界各地で広く使われている。性非行をを起こしてしまった子どもが、責任ある大人になれるように、性犯罪者にならないように願って作成されている。治療者とともに課題を一つずつこなすことで、このような子どもたちが性暴力や性虐待がいかんにか人を傷つけるかを理解できるようにになっている。結果として、健康的で性犯罪から解放された生活を送ることができるように手助けをする。

2009年8月下旬刊行予定

---

性問題行動・性犯罪の治療教育シリーズ3

## 回復への道のり ロードマップ

性問題行動のある児童および性問題行動のある知的障害をもつ少年少女のために

ティモシー・J.カーン 著 藤岡淳子 監訳

---

6歳から12歳の性非行のある子どもが対象。専門家の支援を受けて、トラウマに焦点化した認知行動療法に基づくやり方で人を傷つける行動パターンを変え、健康なスキルを学ぶ。子どもが身体部位といくつかの性的行動について正確な言葉を学び、両親は習ったスキルを練習し繰り返すのを家で支援するワークブック。保育士や教師、カウンセラー等の支援者に見せることができる安全計画帳の提案は、専門家の支援と導きで、不適切な学習経験を乗り越える輝かしい未来を子どもにもたらす。

---

Timothy J. Kahn：性問題行動・性犯罪者治療の臨床家兼研修者

ふじおか じゅんこ：大阪大学人間科学研究科教授，臨床心理士

---

B5判各約300頁 / ②予価4200円 ③予価3990円 (税込)

② ISBN978-4-414-41435-6 ③ ISBN978-4-414-41436-3

レビュー誠信書房出版案内

R

テーマ

「社会心理」に関する本

2007年刊行

## 影響力の武器 [第二版]

なぜ、人は動かされるのか

ロバート・B. チャルディーニ 著 社会行動研究会 訳

著者は、街頭や個別の訪問販売、怪しげな宗教の寄付などで苦い思いを味わった経験から、セールスマンや広告主の世界に入り込み、人がどのような心理的メカニズムで動かされるのか解明した。

四六判 490 頁 / 定価 2940 円 (本体 2800 円 + 税)

ISBN978-4-414-30416-9

1998年刊行

## プロパガンダ

広告・政治宣伝のからくりを見抜く

A. プラトカニス / E. アロンソン 著 社会行動研究会 訳

カルト問題、サブプリミナル、ナチの宣伝技術等、多岐に渡る説得に関わる現象やテクニックを 37 の節に分けてどこからでも読めるようになっている。日常の政治や広告界での説得者の真の意図や資質を見抜くための知識を得る。

A5 判 344 頁 / 定価 3360 円 (本体 3200 円 + 税)

ISBN978-4-414-30285-1

2008年刊行

## 服従実験とは何だったのか

スタンレー・ミルグラムの生涯と遺産

トーマス・プラス 著 野島久雄・藍澤美紀 訳

人間が「権威」というものに対して、如何に弱い存在かを実験によって証明し、社会を震撼させた社会心理学者、S. ミルグラムの生涯の記録。

A5 判 462 頁 + 口絵 8 頁 / 定価 5460 円 (本体 5200 円 + 税)

ISBN978-4-414-30299-8

seishin preview 105  
2009年7月6日発行

株式会社 誠信書房  
〒112-0012  
東京都文京区大塚 3-20-6  
電話 03-3946-5666  
FAX 03-3945-8880  
<http://www.seishinshobo.co.jp/>

Paper: グラフイーエコ